

ごあいさつ

日本橋三越本店において「KAORUKOの世界展」を開催という光栄な機会に恵まれましたのは、会報誌の表紙を振り返ることがきっかけでした。この表紙のフラワーデザインを2004年6月号から33ヶ月に渡り担当させていただきました。作品にはあふれる思いやメッセージがこめられています。

月ごとのデザインを考えると、日本の季節や歳時記、そして欧米のイベントを取り入れながらも柱には和と洋の融合を心がけました。私の考える和と洋の融合です。グローバル化の流れの中、今や花も世界中からリアルタイムで輸入されてきます。欧米のフラワーアレンジメントも大流行です。しかし日本には世界に誇る華道という伝統文化があります。

21世紀、日本の心を大切にしながら欧米様式も取り入れる時代、私の表現する花も私というフィルターを通してデザインされた日本人の作るフラワーアレンジメントでございます。イギリス風でもフランス風でもなくKAORUKOが作るジャパニーズフラワーアレンジメント、KAORUKOスタイルといつしかよばれるようになりました。

ウエディングブーケにおいては、パリコレをはじめ世界のショーの舞台上がった「KAORUKOのゆれるブーケ」はこれまで通算2万組の花嫁様を彩り、私の代名詞となりました。それまで画一的だったブーケが揺れ動くさまは、日本人のもつ繊細さ・わびさび・空間美と評されております。桜の枝が風にゆれる姿に誰しも心を打たれるように、私の中のDNAがそぎおとされたこのゆれるブーケを誕生させたのかもしれない。

華やかで豊かな洋花に私の心を入れて表現する数々。

今回の「KAORUKOの世界展」では、これらKAORUKO芸術の世界をあますところなくご覧いただけます。フラワーデザイナーとして走り続けてきた芸術の追求のいままで、そしてこれからをご堪能いただければ幸いです。

2007年 5月

KAORUKO